

# 人丸公園づくりにニュース



## 第1回 人丸公園整備への思いを語る!

### 当日の時間割

- 19:00—開会・あいさつ
- 19:10—スケジュールの説明
- 19:35—自由な意見の収集
- 19:45—生き物概況調査の報告
- 19:50—ミニ講義
- 20:10—鎮守の森の管理状況報告
- 20:15—意見の集約
- 20:30—閉会

年月日：平成21年9月19日(土)  
 場所：そびあしんぐう  
 参加者：20名

### はじめに

人丸公園を今後どのように整備していくべきかを専門家の助言や指導を受けながら、整備内容を見直し、みなさまと共に合意形成のための意見交換会を行ってまいります。  
 全3回を予定しており、今回は第1回目の意見交換会の報告です。

### 目的

- H13年度ワークショップによる構想案およびH15年度実施設計内容の見直し**  
 H13年度のワークショップで構想案をまとめてから8年も経っており、公園整備を取り巻く状況は刻々と変化しています。現状をふまえ、今後の人丸公園整備のあり方を再検討し、整備予定内容を見直します。
- ニホンアカガエルを含めた生態系の保全に向けた整備予定内容の見直し**  
 H21年5月より絶滅危惧種であるニホンアカガエルの生息情報が寄せられています。ニホンアカガエルを含めた生態系の調査を行い、生き物が棲める公園をめざし、整備予定内容を見直します。
- 既存整備箇所の修復**  
 人丸神社への参道など既存整備箇所の内容を検証し、新しく設定する基本方針により修復・更新などの検討を加えていきます。



## ニホンアカガエルを含めた生態系の概況調査

平成21年8月23日(日)、九州大学農学研究院の弓削こすえ助教により調査が行われました。当日の天候や調査時期の関係から今回の現地調査では、ニホンアカガエルの生息を確認することができませんでした。同時に行った地域住民の方へのヒアリングでは、平成19・20・21年にニホンアカガエルのオタマジャクシが確認されており、ニホンアカガエルが生息していることは間違いありません。来年の産卵時期に同助教による追跡調査を行う予定です。



ニホンアカガエルの生息域を日ノ下池側から見た写真

桜山手地区にお住まいの方から御提供いただいた人丸公園敷地内で撮影されたニホンアカガエルのオタマジャクシの写真です。(撮影H19.3)

推測して、100つがい程度が生息しているようです。とても数が少ないため、今後の慎重かつ的確な検討が必要です。



### 調査を終えて...

人丸公園を整備する上で次の三つの視点が重要と考えます。

- ニホンアカガエルを含めた動植物の豊かな生息環境(生態系)を引き継いでいく**  
 例) 現在の地形をできるだけ保存する  
 工事中も生き物の生息を妨げない工夫をする ...等
- 生き物の生息を妨げない整備手法や施設等を選択する**  
 例) 生き物の移動を妨げない施設の選択  
 高温になりにくい舗装材の選択 ...等
- 生息環境を維持していく仕組み・人づくりが必要である**  
 例) 地域の方による草刈り ...等

## 意見交換会で出された思い

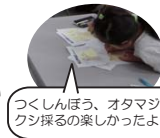
意見交換会で出された意見の内容を以下のような大まかな方針や検討課題などとしてまとめています

### 人丸公園づくりにへの意見!

#### 良い点・引き継いでいくべき点

##### ①動植物の生態系に係わること

- ・今ある自然を保全し公園整備に生かしていきたい
- ・緑地保全地区に指定してほしい
- ・桜並木を保護していきたい
- ・植物の名札を付けるなど学習できる環境をつくりたい
- ・新旧住民が一体となった管理体制をつくる必要がある



つくしんぼう、オタマジャクシ探るの楽しかったよ

##### ②人に係わること

- ・人丸神社大祭を復活したい
- ・イベント・祭り等の拠点としたい
- ・地域住民による維持・管理をしていける環境をつくるべきである

#### 問題点・改善すべき点

##### ①動植物の生態系に係わること

- ・竹・笹や外来種などを取り除いていく管理が必要である
- ・珍しい在来種があるので、外来種による緑化を行うべきではない
- ・参道の整備後に水がたまるなどの問題があり、改善すべきである
- ・人工的なものは不要である
- ・鎮守の森を適切に管理し、生態系の保全と共に人の安全性などにも配慮すべきである。

##### ②人に係わること

- ・公園整備の必要性を明確にすべきである
- ・H13年度ワークショップからの経緯を情報公開し、地域住民の合意形成をはかるべきである
- ・多くの人に集まってもらいたいのがゴミ問題が心配である

### 整備予定施設への意見!

#### 多目的広場について

・予定している多目的広場の大きさや利用方法に対して対立した意見が出ました。「野球・グラウンドゴルフなどができるようにしたい」VS「多目的広場が大きすぎないか」など

#### 体験学習施設について

・「必要ない」という意見もあれば、「あれば利用したい」という意見もあり、必要性和その維持・管理方法など検討が必要なようです。

#### 自然観察園について

・現状をうまく生かした整備を望む意見が多いとともに「どのように維持・管理していくのか?」といった意見も見られました。

#### その他

・「適切な雨水排水設備の整備」「子どもたちが秘密基地をつくったりできる場所を残す。」といった意見も見られます。

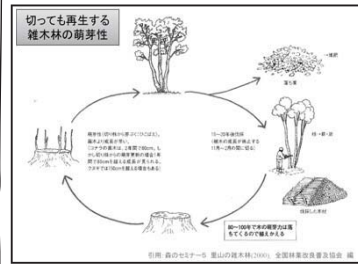
次回、皆さんの意見やこれまでの経緯、専門家のアドバイス、様々な条件を加味し、整備案の修正内容及び皆さんに検討していただきたい項目を提示し、最終的な方向性について合意形成を行いたいと思います。

## 朝廣先生のミニ講義 パート1

~里山の保全と人のかかわりについて~

### 美しい日本の風景

「日本は古来、秋津川豊葦原瑞穂(あきつしまとよあしはらみずほ)の地と呼ばれてきました。秋津は古語で赤とんぼ、豊葦は葦の豊かな葦原、瑞穂はお米のことです。」と日本の風景の美しさから始まり、その風景を人の手で維持していくことの重要性について説明がありました。



テйкаカズラの繁茂する土壌から芽生えた広葉樹

### 里山は更新されて美しくなる

維持・管理を行った森に見られる広葉樹の芽生えなど、実際の写真を見ながら更新されている森の美しさ等について人丸公園の環境と照らし合わせながら説明がありました。

### 環境保全におけるボランティア活動の強化

「農村環境の減少や都市化により適切な里山の管理がされなくなった。里山環境を保全して行くにはボランティア活動の力が非常に重要になってくる。」



### 人丸公園の整備について

人丸公園の整備による痛ましい鎮守の森の現状に残念がられていました。最後に、「鎮守の森」を含めた人丸公園の環境を適切な方法で保全していくことの重要性を説明されて終わりました。

## ・次回内容

第2回意見交換会  
 平成21年10月17日(土) 19:00~20:30  
 場所：そびあしんぐう (小ホール)  
 ・人丸公園整備の具体的な方針についての意見交換  
 ・朝廣先生によるミニ講義「(仮)公園づくりは人づくり」

## ・問い合わせ先

新宮町都市整備課 笠井・山下まで  
 電話：092-963-1735 ファックス：092-941-2682  
 電子メール：kensetsu@town.shingu.fukuoka.jp まで  
 作業機関 (株)ランドスケープ・コア

全体スケジュール  
 第1回：平成21年9月19日(土)  
 第2回：平成21年10月17日(土)  
 第3回：平成21年11月8日(日)

残りあと2回です。人丸公園の整備内容について議論できる貴重な時間です。皆様参加をお待ちしています。